

遠隔操縦における作業効率向上に資する技術(映像処理技術)の性能評価項目等と試験方法・条件

性能種別	性能評価項目		性能評価指標	要求水準	性能評価	試験方法・条件	備考
	項目	内容					
遠隔操縦の作業効率性	A-1	遠隔操縦の正確性	無人化施工の直接方式による掘削等の初動対応(第2世代※)と比較して施工精度が同等以上であること。 (当該技術の出来形精度) / (従来技術の出来形精度)	従来技術と同等又は同等以上であること。	値が小さい方が高性能	・現場にて指定した位置にバケットの爪を当てることのできるか位置精度の確認を行う。 ・現場試験場所: 雲仙復興事務所管内を予定	
	A-2	作業効率性	無人化施工の直接方式による掘削等の初動対応(第2世代※)と比較して作業効率が同等以上であること。 (当該技術の一定規模当たり施工時間) / (従来技術の一定規模当たり施工時間)	従来技術と同等又は同等以上であること。	値が小さい方が高性能	・検証現場にて遠隔操縦による施工を行い、サイクルタイム等を計測する。 ・現場試験場所: 雲仙復興事務所管内を予定	

※第2世代: 映像伝送システムを用いた無人化施工のうち、LAN等のネットワークを用いずアナログ無線通信にて遠隔操作式建設機械を操作する無人化施工